

## おもな内容


秋のお祭り・行事 …… 2・3
ようこそ夜久野へ …… 4
お医者さんに聞いてみました …… 4
３館合同ふれあいまつり …… 5
田んぼアート稲刈り …… 5
ふるさと基金（まごころ銀行） …… 6


どこまでも、
秋。


第78号
令和8年11月号


# 夜久野自治会だより

誰もが　幸せに暮らせる　夜久野

# 紹介します！秋のお祭り・行事

秋は、お祭りを始め様々な行事が開催されています。
集まる人たちの笑顔や会話が、地域をいきいきと彩っています。
大切な伝統を守ってこられたもの、新しい発想で企画されているもの…。いずれもその地にお住いの方々の熱い思いを感じます。
今は継続を休止されている催しも含めて、みなさんの営みをご紹介いたします。

## 風の願祭　日置自治会


八幡神社例祭

９月６日に、「八幡神社例祭」と「風の願祭」が行われました。
それぞれ別の催しではありますが、大正時代の末頃から、同じ日に合同で行っています。
最初に、「八幡神社例祭」として、八幡神社にて拝礼します。


高倉神社にて拝礼


お千度参り

その後、引き続き「風の願祭」を行います。「風の願祭」は、節分から数えて220日を過ぎた頃に行われるとされています。節分に農作物の豊作を願い、台風を逃れるように祈願し、台風が過ぎるこの時期に“願解き”の感謝祭として行うのが「風の願祭」です。高倉神社の鳥居参道で「お千度参り」を行いました。参加者全員のお参りの総数が千回になるように参道を往復するそうで、20名の参加者が熱心に歩みを進めておられました。

## 敬老祝賀会［おいで家］に集う！　門垣自治会

今年の敬老祝賀会は、9月13日(日)に「おいで家」で開催しました。



昭和60年(1985年)に、門垣地内に建設された構造改善会館（多目的研修集会施設）は、近年は閉鎖されていましたが、今年6月から地域の集いの場「おいで家」として生まれ変わり、『新しい風』を吹き込んでいただきました。門垣公民館よりも広く、また段差のない会場で、「会話・食事・カラオケ」を楽しんでいただきながら、ご長寿をお祝いしました。




カラオケのフィナーレでは、32名全員で「星影のワルツ」を歌い、気持ちをつないだ笑顔の敬老祝賀会となりました。

西垣内科医院　院長 西垣 哲哉
37-0127（FAX共用）夜久野町額田森嶋
訪問看護 ハートケア
TEL 0773-37-0033

# 「井田賀茂神社秋の例大祭」の歴史

## 井田自治会

井田の秋祭り「井田賀茂神社秋の例大祭」は、五穀豊穣を祈り、明治初期に始まりました。

祭では鉢巻き、法被姿、絹織物のどんすを下げた小学生が、中学生の笛に合わせ、「春の田ごしらえ」から「田植え」「稲刈り」までの農作業の一連の工程を輪になって演じる（太鼓打）と、重さ500kg超の大神輿を24人が担ぎ、井田自治会内や額田区内を巡行し、その辻々で太鼓打を披露しました。





残念ながら、少子高齢化により子どもの数が減り、大神輿の担ぎ手の高齢化も相まって、止むを得ず令和元年、150年の歴史に幕を閉じました。

現在は、賀茂神社本殿にて、神事のみ開催しています。

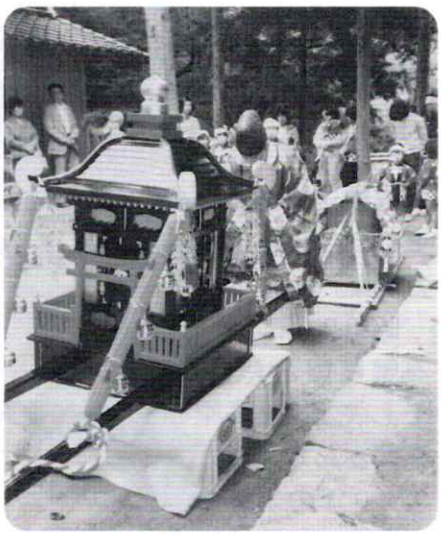
# 「小倉子ども神輿」

## 小倉自治会

もともと小倉の秋祭りの神事は、男衆の参加のみで、女性や子どもたちの参加はありませんでした。そんな中、子どもたちから「祭りに参加したい」との声が上がり、お母さん方を中心に「みんなで祭りを盛り上げよう！」と、『子ども神輿（みこし）』が誕生しました。昭和58年頃のことでした。

当初はお母さん方有志による手作りの「ダンボール神輿」で、花やモールなどで飾りつけた神輿でした。その後、昭和60年頃、地域にご縁のある宮大工さんに新しい神輿を寄贈いただきました。それが写真の神輿です。

漆塗りを施され、飾り付けられた神輿は、子どもたちを始め地域の人たちに愛され、神輿の巡行は多くの人に楽しまれてきました。





残念ながら、子どもの減少とともに担ぎ手がなくなり、現在は休止しています。

神輿は賀茂神社に大切に保管され、再び担がれる日を心待ちにしています。

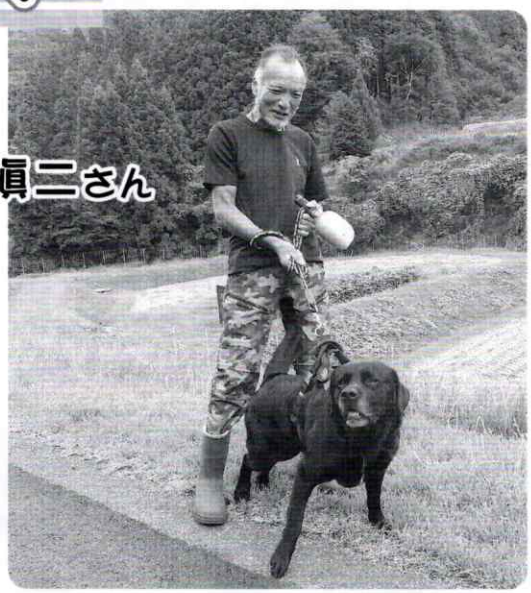
小倉自治会では、この神輿を眠らせておくのではなく、「どなたかに是非とも使っていただきたい」と願い、活用される団体を探しておられます。

関心を持たれた方は、小倉自治会長までご連絡をお寄せください。

# ようこそ夜久野へ

## 現世に移住して8年目

### 福村愼二さん



大阪府の泉南地域から、空き家バンクを通じ上夜久野の現世に移住してこられました。

福村愼二さん 66歳。奥様と愛犬の2人と1匹暮らしです。

今では自治会の農区長や体育委員なども引き受けていただいており、大変頼もしい存在です。

農機具も徐々に購入し、今年は作り手のない田を5反耕作されています。

# 教えて！先生 お医者さんに聞いてみました

## 患者さんとの会話から最適の処方を見つける

### 医療法人　髙尾医院



今回号は、内科医、糖尿病専門医、老年科専門医、日医認定産業医として、毎日忙しくしておられる髙尾医院　院長髙尾嘉興さん：井田（79歳）です。





医療法人 髙尾医院は明治38年に祖父：髙尾嘉一さんが開業。

昭和21年に父：髙尾嘉輝さんが、そして現在、髙尾嘉興さんが継承して40年の永きにわたって、地域医療に従事されておられます。

治療にあたり大事にしていることは？ と聞くと、まず「患者さんの話をじっくりと聴くこと！」そして、「何をすることがこの患者さんに必要なのか」を心掛けている。特に高齢者の方には、「聴くこと」の大切さを実感しています。と髙尾先生の人柄と優しさを感じる一言でした。

現在、「長男も東京で外科医として頑張っている。帰って来ることはないけどね（笑）」と元気な髙尾先生でした。


綜合建設業
株式会社 衣　川　組
〒629-1312　京都府福知山市夜久野町末718-1
地域とともに歩みます
お気軽にご相談下さい
☎0773−37−1155

## 世代を超えて賑やかに交流！ 3館合同ふれあいまつり



10月17日（土）、夜久野学園体育館を会場に、上夜久野・中夜久野・下夜久野の３つの地区公民館と、夜久野学園ＰＴＡ、老人クラブ夜久野支部のみなさんが協力して、楽しい催しを開催されました。

「紙ヒコーキ飛ばし」「スリッパ飛ばし」「コップ立て」「輪投げ」などの記録に挑戦できるものから、「お菓子のつかみ取り」「宝つり」などのお楽しみ企画まで、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるコーナーが準備されており、参加者は思い思いのコーナーを訪れていました。





最後は全員参加の「○×クイズ」で盛り上がりました。

## 田んぼアート稲刈り　居母山クラブ

本誌７７号まちかどフォトで紹介した「田んぼアート」は、今号裏表紙に掲載している絵柄に育ちました。

そして、10月4日（日）に、稲刈りが実施されました。

居母山クラブ関係者の他、福知山公立大生など、幼児から大人まで総勢約４０人が、色づいた稲を賑やかに刈り取りました。







**「夜久野自治会だより」は創刊号から全てwebでご覧いただけます。**

夜久野みらいまちづくり協議会ホームページ

（https://www.yakuno-machizukuri.com）

⇨ まちの今 ⇨ 自治会の今

まちづくり協議会のサイトご検索してください


野菜の育種　野菜苗

有限会社 夜久野育種農場

〒629-1323　京都府福知山市夜久野町板生29

TEL＆FAX（0773）38－1235

E-mail:globot@mxa.nkansai.ne.jp



田んぼアート　8月2日



田んぼアート　9月18日

## ふるさと基金（まごころ銀行）

篤志ありがとうございました。

☆令和8年8月
亡夫供養　東　口　あさ子　様（　向　）
亡父供養　衣　川　浩　行　様（高内）
☆令和8年9月
亡母供養　衣　川　正　和　様（下千原）
亡母供養　的　場　善　彦　様（高内）
☆令和8年10月
前住職供養　本　光　寺　様（西垣）
亡父供養　足　立　幸　造　様（副谷）
志　夜久野町仏教会　様

市人口統計表による
**《夜久野町の人口は》**

人　口　2,627人（−110人）
（男）1,284人　（−53人）
（女）1,343人　（−57人）
世帯数　1,368戸　（−37）

☆　令和8年9月末日現在
（　）内は昨年同期と比較

## 夜久野自治会だより

令和8年11月発行

発行所　夜久野町連合自治会（事務局37−1188）
発行責任者　夜久野町連合自治会会長　野崎 直明
印刷所　有限会社豊田印刷

浮き漂う 紅葉筵（もみじむしろ）の 宝山